

# 東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

## 39 号のトピックス

### ◎第 33 週及び第 34 週(8 月 14 日-27 日)の週報告

- ・定点医療機関からの患者報告数は、第 33 週に 375 人、定点当たり 0.94 人、第 34 週に 576 人、定点当たり 1.40 人 (昨年の第 34 週 定点当たり 0.01 人)
- ・集団発生事例の報告数は、第 33 週に 3 件、第 34 週に 5 件
- ・第 34 週の全国における定点医療機関からの患者報告数は、6,910 人、定点当たり 1.40 人

### ◎2022-2023 年シーズン(2022 年第 36 週-2023 年第 34 週)のまとめ

- ・患者報告数 ・集団発生報告 ・ウイルス検出状況 ・検出ウイルスの遺伝子系統樹

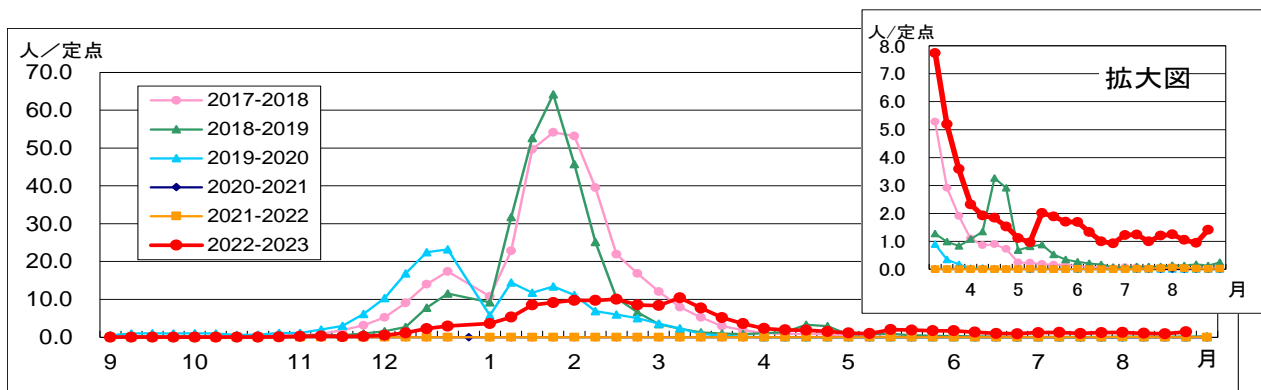


図1. 東京都における定点当たり患者報告数の推移

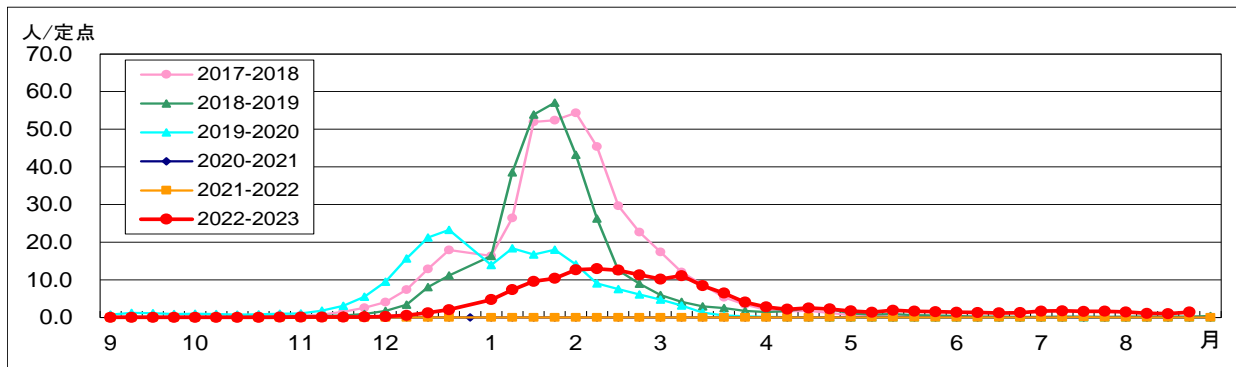


図2. 全国における定点当たり患者報告数の推移

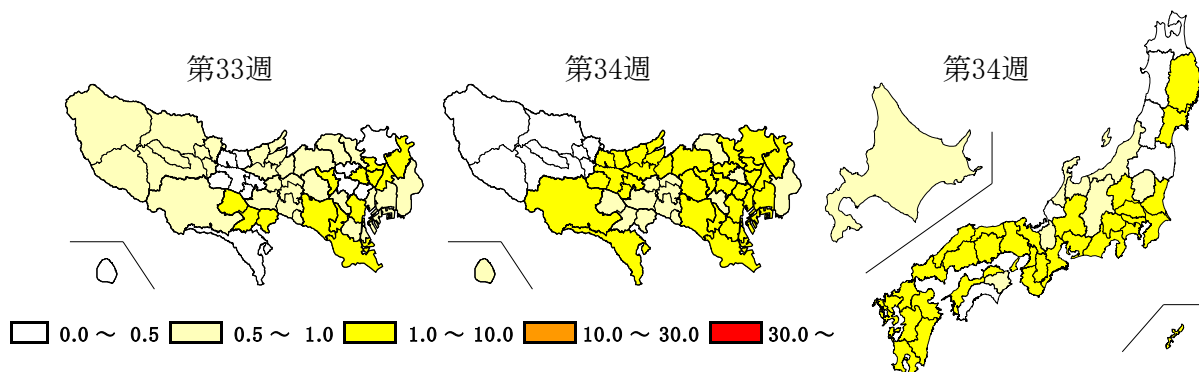


図3. 都内の保健所別定点当たり患者報告数(第33週、第34週)及び全国の定点当たり患者報告数(第34週)

## 第33週及び第34週(8月14日-27日)の週報告

### 1. 定点医療機関からの患者報告

【東京都】 インフルエンザ定点医療機関\*からの患者報告数は、第33週に375人、定点当たり0.94人、第34週に576人、定点当たり1.40人(第32週:1.05人/定点)でした。未だ23保健所管内では、1.00人/定点を上回っています(図1、3)。

【全国】 第34週の患者報告数は6,910人、定点当たり1.40人でした(第33週:1.01人/定点)。全国においても、未だ33都府県では1.00人/定点を上回っています(図2、3)。

### 2. インフルエンザによる入院患者報告数

基幹定点医療機関\*\*からインフルエンザによる入院報告は、第33週に3件、第34週に12件ありました(図6)。

### 3. インフルエンザ様疾患の集団発生報告数

集団発生報告は、第33週に3件(保育所2件、社会福祉施設1件)、第34週に5件(保育所4件、社会福祉施設1件)ありました(図8)。

## 2022-2023年シーズンまとめ

### 1. 定点当たりの患者報告数の推移

東京都における2022-2023年シーズン(以下、今シーズン)の定点当たりの患者報告数は、2022年第50週(12月12日-18日)に流行開始の指標となる1.00人を上回る1.12人となり、2023年第7週(2月13日-19日)には注意報レベルとなる10.00人を上回る10.04人まで増加した後、一旦は減少しましたが、第10週(3月6日-12日)にはピークとなる10.42人まで再度増加しました。その後、定点当たりの患者報告数は、緩やかに減少して、第19週(5月8日-14日)には0.96人と1.00人を下回りましたが、第20週(5月15日-21日)には2.01人と再度増加し、8月下旬まで0.92人~1.89人で推移しました。このため、今シーズンの流行は、明らかな終息がみられませんでした(図1)。

全国における定点当たりの患者報告数は、第6週(2月6日-12日)に12.91人と、東京都よりも早くにピークを迎えましたが、その後の推移は、東京都と同様の経過を辿りました(図2)。

今シーズンは、定点当たりの患者報告数が警報レベルとなる30.00人を超えることは無く、

流行は大規模ではありませんでしたが、例年では終息している時期になっても1.00人を上回る患者報告があったのは、1999年に感染症発生動向調査が開始されてから、初めてのことでした。

### 2. 年齢階層別の患者報告数

今シーズンの患者報告を年齢階層別にみると、5-9歳の年齢階層が最も多く報告されました(図4)。患者報告全体における5-9歳の年齢階層の割合は、およそ40%で、過去10シーズンにおいても、最も多い割合となりました(図5)。

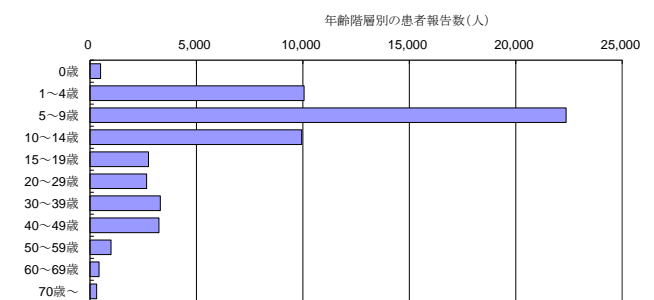


図4. 2022-2023シーズンにおける年齢階層別患者報告数

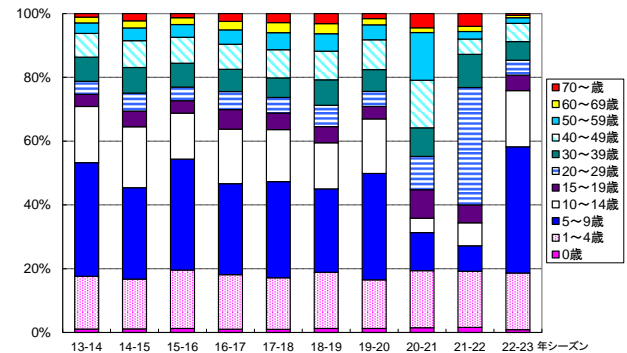


図5. 過去10シーズンにおける患者報告数の年齢階層割合(2013-2023年)

### 3. インフルエンザによる入院患者報告数

今シーズンに基幹定点医療機関\*\*から報告のあったインフルエンザによる入院患者数は、279人(第34週現在)でした。入院患者数の推移は、図1の定点当たりの患者報告数の推移と同様の経過を経て、8月中旬まで1人~4人の報告が続き、第34週には12人と再び増加しました(図6)。また、報告された入院患者の年齢階層は、例年、高齢者の入院患者が多く報告されるところ、患者報告と同様に5-9歳の

年齢階層がおよそ32%と最も多く、過去10シーズンにおいても、最も多い割合となりました(図7)。

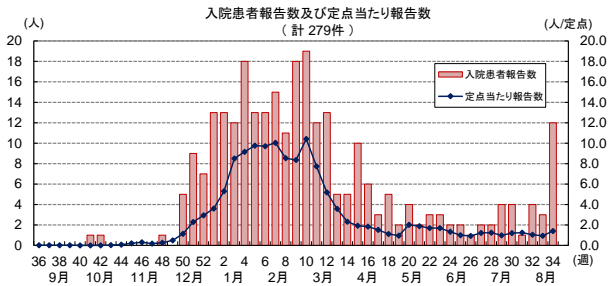


図6. インフルエンザによる入院患者の報告数

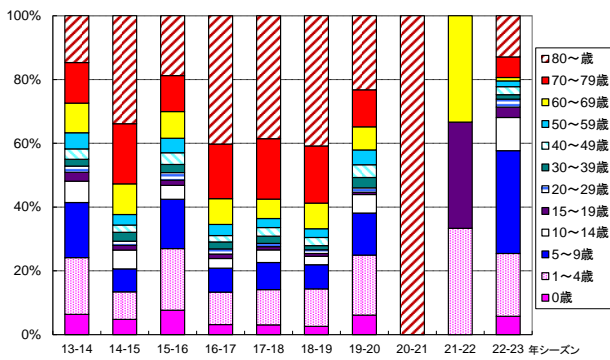


図7. 過去10シーズンにおける入院患者報告数の年齢階層割合(2013-2023年)

#### 4. インフルエンザ様疾患の集団発生報告数

インフルエンザ様疾患による集団発生事例の報告数は、2,528件(第34週現在)あり、第6週に241件と今シーズンで最も多くの事例発生がありました。今シーズンの発生事例の内訳は、保育所1,118件、小学校1,136件、中学校133件、幼稚園88件、高等学校25件、社会福祉施設20件、医療機関4件、その他4件でした(図8)。

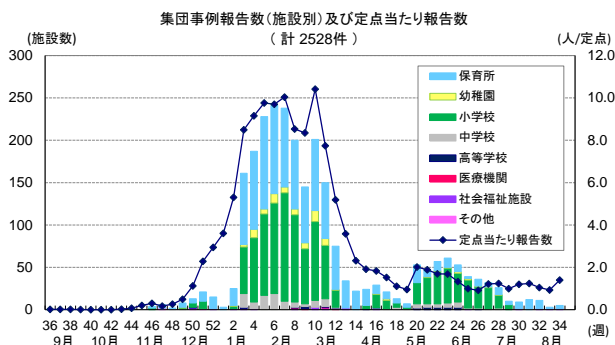


図8. インフルエンザ様疾患の集団発生報告数

#### 5. 定点医療機関からのウイルス検出状況

今シーズンの第32週までに病原体定点医

療機関\*\*\*から194検体が搬入され、139件からインフルエンザウイルスが検出されました。検出されたインフルエンザウイルスの内訳は、AH3亜型が126件、AH1pdm09が9件、B型が4件でした(表1、図9)。検出されたB型は全てVictoria系統でした。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1pdm09	AH1	AH3	B
36週-52週(9/5-1/1)	27	18			18	
1週-29週(1/2-7/23)	156	116	8		104	4
30週(7/24-30)	4	2			2	
31週(7/31-8/6)	4	1	1			
32週(8/7-13)	3	2			2	
合計	194	139	9	0	126	4

\*インフルエンザ情報発行時点で検査結果が判明したものを掲載

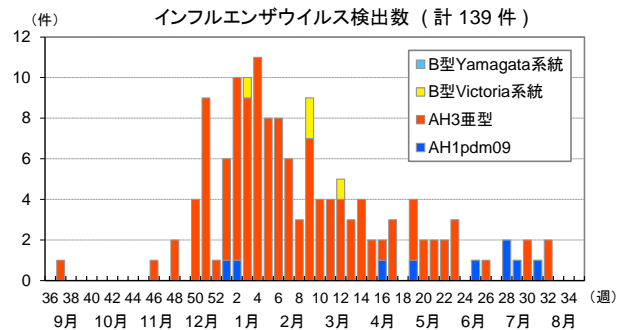


図9. 定点医療機関から搬入された検体からのインフルエンザウイルス検出状況

#### 6. 検出されたインフルエンザウイルスのヘマグルチニン(HA)遺伝子系統樹

今シーズン検出されたAH1pdm09、AH3亜型、B型Victoria系統のインフルエンザウイルスについて、HA遺伝子の分子系統樹解析を行いました。

AH1pdm09の今シーズン流行株は、新型コロナウイルス感染症の流行以前の2017年から2019年の都内検出株とは異なるクレードでしたが、ワクチン株とは近縁のクレードに属していました(図10)。

AH3亜型の今シーズン流行株は、ワクチン株と同じクレード(2022-2023シーズン流行株①)とワクチン株と異なるクレード(2022-2023シーズン流行株②)の2つのクレードに分かれました(図11)。

B型Victoria系統の今シーズン流行株は、新型コロナウイルス感染症の流行以前の2018年から2020年初めの都内検出株と異なるクレードでしたが、ワクチン株と近縁のクレードに属していました(図12)。

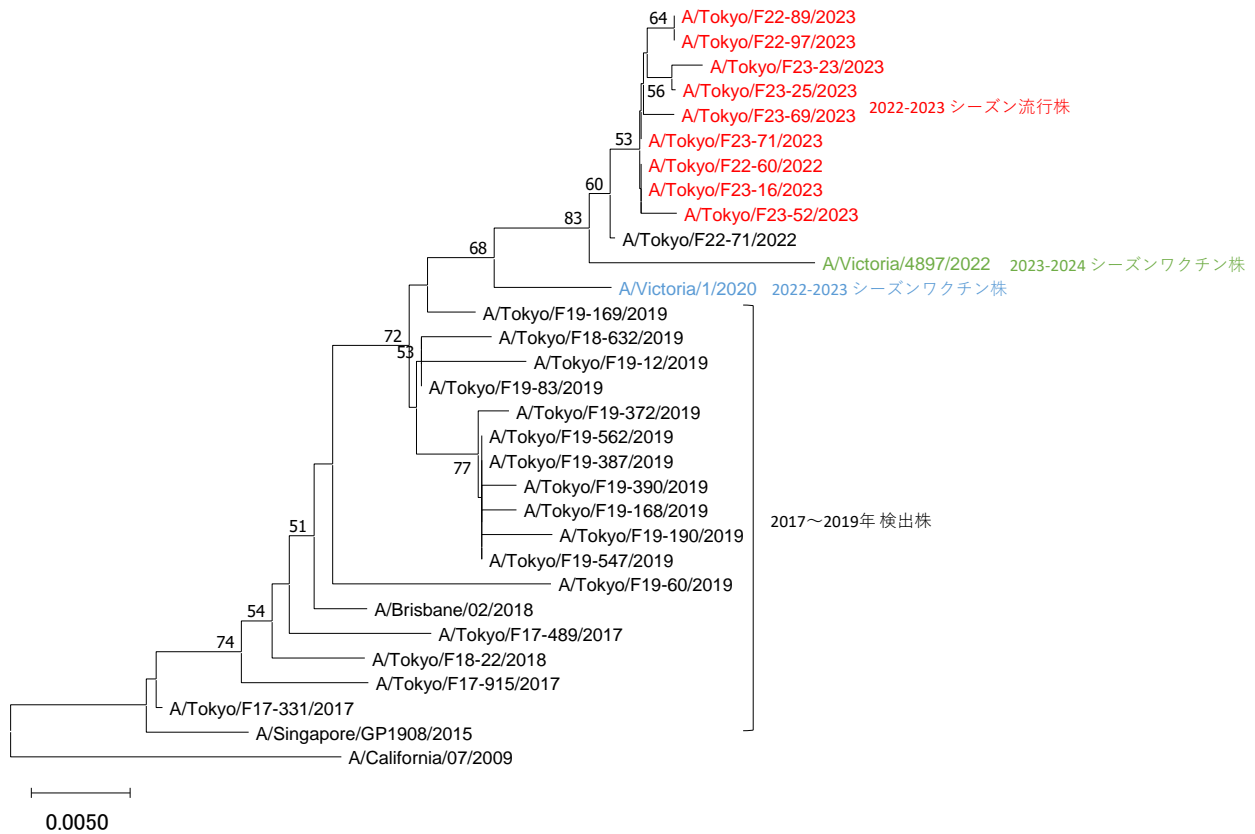


図 10. 東京都で検出された AH1pdm09 インフルエンザウイルス HA 遺伝子の分子系統樹(ワクチン株含む)

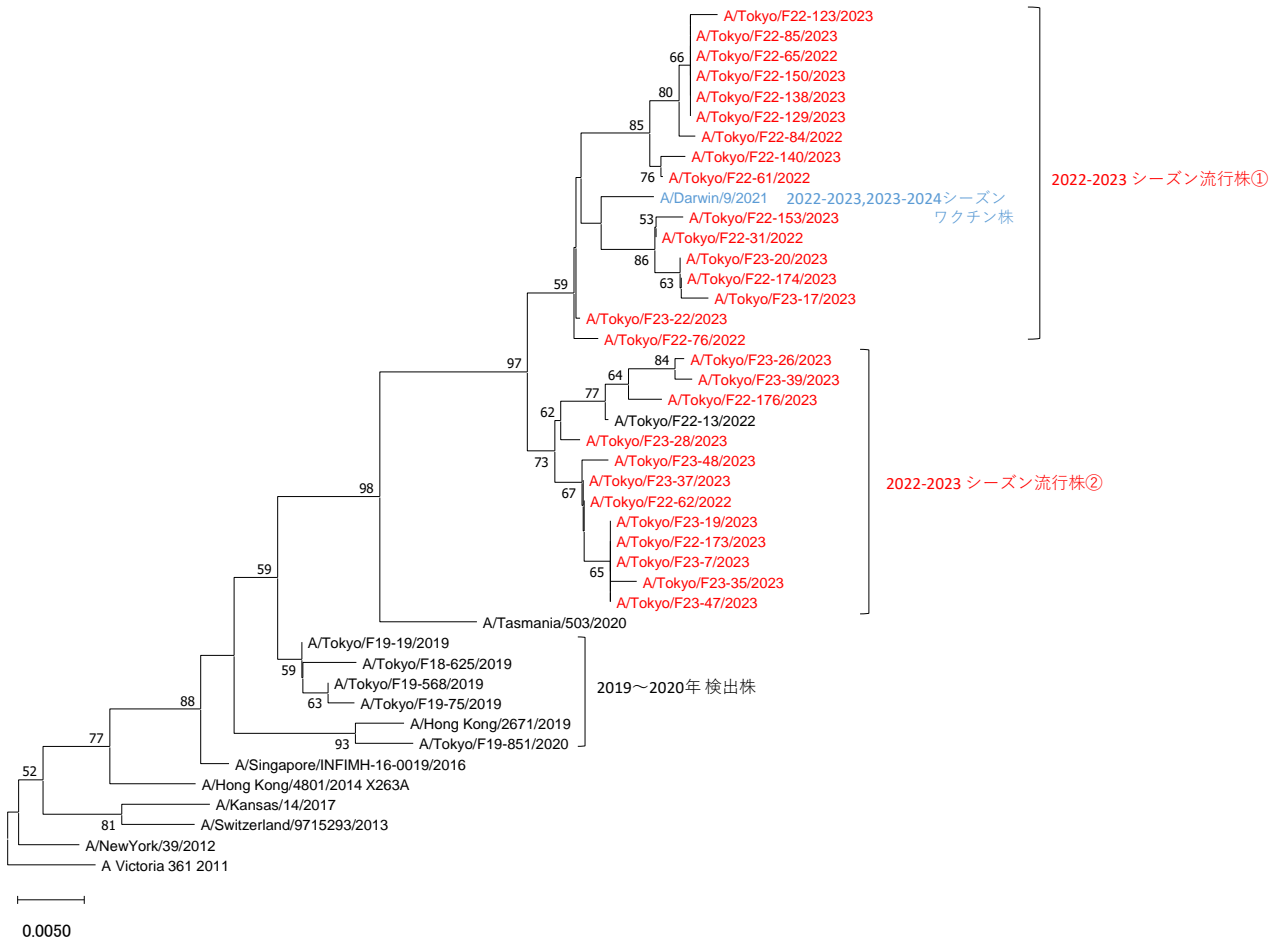


図 11. 東京都で検出された AH3型インフルエンザウイルス HA 遺伝子の分子系統樹(ワクチン株含む)

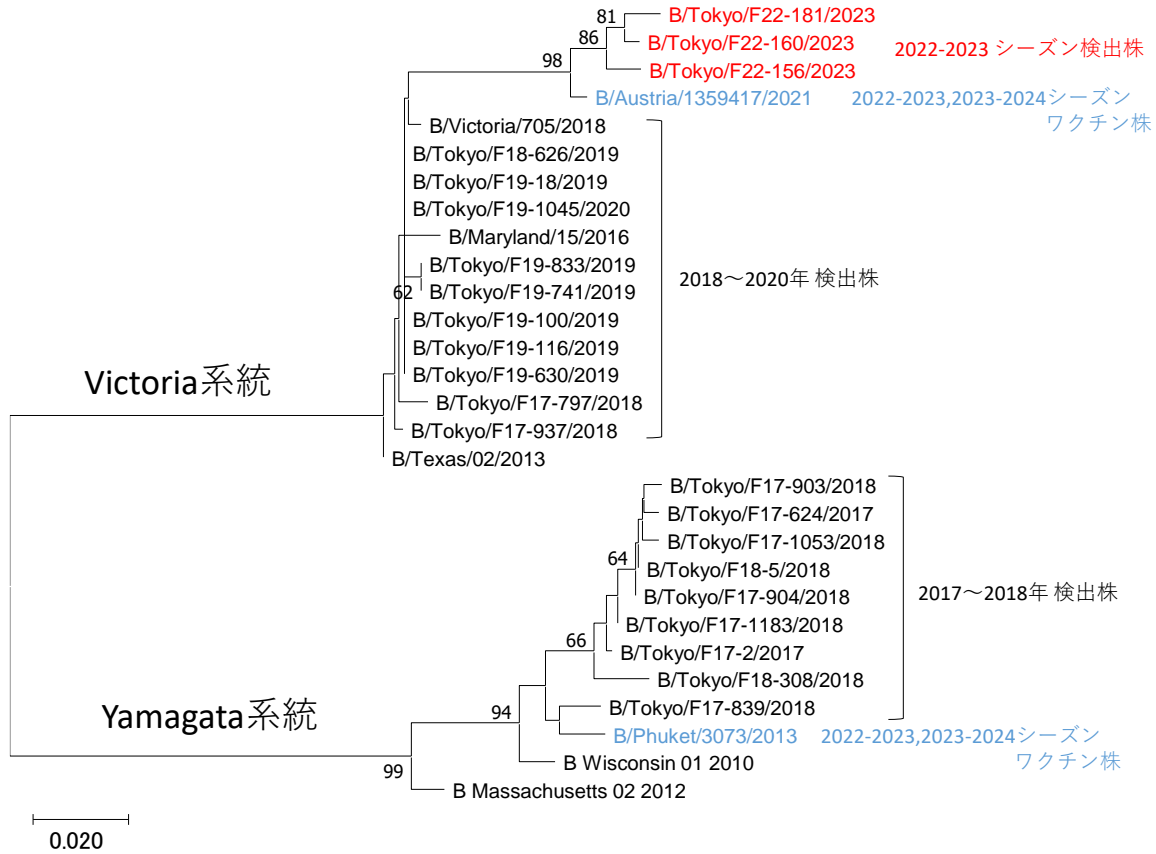


図12. 東京都で検出されたB型インフルエンザウイルスHA遺伝子の分子系統樹(ワクチン株含む)

**2022-2023年シーズンのインフルエンザワクチン株**

**A型株**

A/ビクトリア/1/2020 (IVR-217) (H1N1)  
A/ダーウィン/9/2021 (SAN-010) (H3N2)

**B型株**

B/プーケット/3073/2013 (山形系統)  
B/オーストリア/1359417/2021 (BVR-26) (ビクトリア系統)

**2023-2024年シーズンのインフルエンザワクチン株**

**A型株**

A/ビクトリア/4897/2022 (IVR-238) (H1N1)  
A/ダーウィン/9/2021 (SAN-010) (H3N2)

**B型株**

B/プーケット/3073/2013 (山形系統)  
B/オーストリア/1359417/2021 (BVR-26) (ビクトリア系統)

本号をもちまして、2022-2023シーズンの最終号とさせていただきます。

**\* インフルエンザ定点医療機関**

インフルエンザ患者数を把握するために指定された、小児科および内科の医療機関 419か所 (全国約 5,000か所)

**\*\* 基幹定点医療機関**

インフルエンザ入院患者数を把握するために指定された、主に内科の医療機関 25か所 (全国約 500か所)

**\*\*\* 病原体定点医療機関**

ウイルスの発生状況を把握するために指定された、インフルエンザ定点医療機関 41か所 (全国約 500か所)

**◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆**

**編集・発行**

東京都健康安全研究センター  
企画調整部健康危機管理情報課  
〒169-0073  
東京都新宿区百人町3-24-1  
TEL: 03-3363-3213  
FAX: 03-5332-7365  
S1153803@section.metro.tokyo.jp  
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>